

鏡山学区自治連合会・山科区役所が 国土交通大臣から表彰



12月19日、国土交通大臣から交通に関する環境改善への取組の成果が顕著である事業者等に贈られる「令和元年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」を、鏡山学区自治連合会及び京都市山科区役所が受賞しました。

受賞は、平成25年に復活運行された鏡山循環バスの地域交通としての定着を目的とした様々な取組により、環境改善が著しいと高い評価を受けての受賞となりました。

表彰式は、国土交通省(霞ヶ関)において執り行われ、鏡山学区自治連合会の役員の方々、区役所が出席し、国土交通大臣より表彰状が授与されました。

問合せ 区まちづくり推進担当 (☎592-3088)

山科区明るい選挙推進協議会 が総務大臣表彰を受賞



第25回参議院議員通常選挙において、明るい選挙の推進に積極的に取り組み、その活動の功績が顕著であると認められ、総務大臣表彰を受賞されました。

問合せ 区選挙管理委員会 (☎592-3066)

令和元年度 第2回 山科区民まちづくり会議 を開催しました

「第2期山科区基本計画」の計画期間が令和2年度末で終了することに伴い、現在山科区では、令和3年度以降のまちづくりのビジョンを示す「次期山科区基本計画」を策定しています。



12月26日に「第2回山科区民まちづくり会議」を開催しました。「第1回山科区民まちづくり会議(7月開催)」等での皆様からの貴重なご意見を踏まえて、「次期山科区基本計画」の中心となる7つの基本施策を事務局より提案し、7つの基本施策や取組等について自由闊達な議論が交わされました。

今後も山科区民まちづくり会議をはじめとして、広く区民の皆様のご意見を募りながら、「次期山科区基本計画」の策定に取り組んでまいります。

問合せ 区総務・防災担当 (☎592-3066)

市政懇談会が開催されました

12月19日、区民と市政をつなぐパイプ役としてご活躍されている山科区市政協力委員連絡協議会の各学区会長と門川市長との懇談会が開催されました。

懇談会では、山科区市政協力委員連絡協議会会長会の内海敏代表が、「山科区は、環境や安心・安全など地域力を活かした取組がたいへん盛んな行政区です。これからも、私達会長会がリーダーシップを取り、区民の皆様とともに取り組んでまいりたい。」とあいさつをされました。

また、門川市長からは、日頃の取組や活動に対する感謝と、市政の発展に向けたより一層の協力の呼びかけがあり、その後、門川市長と参加者との活発な意見交換が行われました。



問合せ 区まちづくり推進担当 (☎592-3088)

問合せ 区総務・防災担当 (☎592-3066)

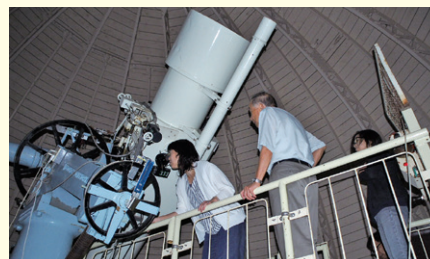
「京都市まちづくりアドバイザー 佐藤友二」

ちようど昨年12月、今年6月と部分日食が短期間に連続するので、魅力を伝えられるよう活動に力を入れるそうです。次の部分日食は10年後なので「今年がチャンスですよ。」とのこと。ぜひ花山天文台の観望会に参加してみてください。

公開をしていたのですが、参加者からは増やしてほしいという声がありました。しかし、京都大学の教育研究施設という性質上、一般公開のために動けるスタッフは限られ、それに応えるのは難しかったのです。」黒河さんは当時花山天文台の台長。2006年3月に退職すると、天文台を活用して一般向けに観望会を行う活動を始めました。

現在では年に6回の観望会、2回の講演会、そして岐阜県にある飛騨天文台で観望をする2泊3日のツアーを2回行っているそうです。観望会は毎回定員を超える申し込みがある人気ぶり。NPO法人の理事長、西村さんは「昨年から山科、ぎずな支援事業の補助を受け、山科アプリで告知している成果もありませんが、山科区民の方の参加も増えてきています。」とのこと。とはいえ天文台は山の中にあるために、夜間の安全面の確保や送迎手段の用意など、運営には苦労も多いそうです。

そんな苦労をして活動する原動力は「太陽、月、惑星などは身近な存在ですが謎も多く、天文学は自然科学の入り口として適しているのですが、教えられる教員が少ないのが現実です。子どもから大人まであらゆる方々に、天文学に触れていただく機会を増やしたいと考えています。なにより宇宙は美しい神秘的。星空のもと観望しているとワクワクしますよ。」と西村さん。西村さんは洛東高校で教員をしていた14年間、夏休みに希望する生徒を募り天文台で研究する活動をしていたそうです。



山科盆地から東山を見上げると、山の上に光る銀色のドーム。これが京都大学花山天文台です。山科で育った方は、小学校の校外学習で訪れた経験があるかもしれませんね。

この天文台を拠点として、青少年への理科教育や市民の生涯学習に貢献することを目的にNPO法人花山星空ネットワークが活動を行っています。NPO法人の顧問、黒河さんにお話を伺いました。「活動を始めたのは2006年からです。それまで天文台では年に1回一般

第65回
連載
区民活動きずなリレー

山科から宇宙のロマンを感じて
「花山星空ネットワーク」